

議案第 29 号

辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更について（吉野
・惣川・黒岩・白崎・来川辺地）

吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地に係る総合整備計画を別紙のとおり変更
したいので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等
に関する法律（昭和 37 年法律第 88 号）第 3 条第 8 項の規定により準用する同
条第 1 項の規定により、議会の議決を求める。

令和 4 年 2 月 21 日提出

南あわじ市長 守 本 憲 弘

総合整備計画

兵庫県 南あわじ市 吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地
(辺地の人口 163 人 面積 7.4 k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する市又は字の名称

南あわじ市灘吉野、灘惣川、灘黒岩、灘白崎、灘来川

(2) 地域の中心の位置

南あわじ市灘吉野 400 番地

(3) 辺地度点数

128 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地は市の南部に位置し、灘地域の中中部で海岸沿いにある漁村集落である。

【道路防災施設】(市単独道路橋梁維持事業)

当該辺地地区は、集落へ通ずる唯一の市道である市道白崎本線を生活基幹道路として通行しているが、比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。

特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。

道路防災施設(落石防護柵)を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となる。

【園地施設】(灘黒岩水仙郷整備事業)

本辺地に立地する灘黒岩水仙郷は、標高608mの諭鶴羽山の海に続く45度の急斜面約7haにわたって500万本の水仙が群生し、房総半島、越前海岸と並び日本三大群生地の一つに数えられ、観光資源に乏しい本辺地の地域活性化のための重要な拠点施設である。

しかしながら、水仙生育環境の悪化等により、開花率が著しく低下しつつあり、近年入場者数が激減している。加えて、昭和52年に建設された非耐震構造の管理棟は、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことなどの理由から、再整備が急務となっている。

再整備にあたり地元関係者と協議を重ね、これまで水仙シーズンでのみの利用であった灘黒岩水仙郷を、年間を通じて利用できる地域活性化拠点として整備することとしたため、園地のユニバーサルデザイン対応、既存通路の拡幅及び駐車場の拡張等を行うとともに、花立ちの悪くなった園地の環境改善及び、老朽化施設の建替え等による利用者の安全性、利便性の確保を行い、また、淡路一周サイクリングアワイチの休憩施設、地元

別記第 1 号様式

特産物のPR拠点等としての機能などを新たに設け、地域活性化拠点として再整備し、地域の活性化を図る。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和7年度 8年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
道路防災施設	南あわじ市	17,500 (17,500)		17,500 (17,500)	17,500 (17,500)
園地施設	南あわじ市	1,161,100 (763,000)	564,400 (0)	596,700 (763,000)	592,700 (763,000)
合計		1,178,600 (780,500)	564,400 (0)	614,200 (780,500)	610,200 (780,500)

上段：変更後 下段：(変更前)

(別表第1) 年次別計画表

市町名 南あわじ市

辺地名 吉野・惣川・黒岩・白崎・来川

(単位: 千円)

事業名	事業内容	全体			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度								
		事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債				
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源					
市単独道路橋梁維持事業	落石防護柵設置工事	17,500		17,500	17,500	3,500		3,500	3,500	3,500		3,500	3,500	3,500		3,500	3,500	3,500		3,500	3,500				
灘黒岩水仙郷整備事業	建築工事	1,161,100	564,400	596,700	592,700									243,500	62,800	180,700	176,700	443,400	273,400	170,000	170,000				
合 計		1,178,600	564,400	614,200	610,200	3,500		3,500	3,500	3,500		3,500	3,500	3,500		3,500	3,500	247,000	62,800	184,200	180,200	446,900	273,400	173,500	173,500

事業名	事業内容	令和5年度			令和6年度			令和7年度													
		事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債	事業費	財源内訳		辺地対策事業債
			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源			特定財源	一般財源	
市単独道路橋梁維持事業	落石防護柵設置工事																				
灘黒岩水仙郷整備事業	建築工事	408,200	228,200	180,000	180,000	33,000		33,000	33,000	33,000		33,000	33,000								
合 計		408,200	228,200	180,000	180,000	33,000		33,000	33,000	33,000		33,000	33,000								

(記載要領)

- 1 辺地ごとに作成すること。
- 2 事業名には、具体的名称(町道○○線等)をあげること。
- 3 事業内容については、計画期間内ものを記載すること。
- 4 本表の辺地対策事業債の算出にあたっては、100%充当とすること。

事業計画位置図

吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地



(別表第2)

辺地総合整備計画策定(変更)に係る理由書

市町名	南あわじ市	辺地名	吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地
<p>○辺地の概要</p> <p>当該辺地地区は市の南部に位置し、灘地域の東部の海岸沿いにある漁村集落で、世帯数82戸、人口163人、面積7.4㎢の辺地である。</p>			
<p>道路防災施設 (市単独道路橋梁維持事業)</p>			
<p>①必要性</p> <p>当該辺地集落へ通ずる市道である市道白崎本線は、当地区住民や、当地区への訪問者にとって、通行できる唯一の生活基幹道路となっている。</p>			
<p>②緊急性</p> <p>比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。</p> <p>特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。</p>			
<p>③事業効果</p> <p>道路防災施設(落石防護柵)を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となる。</p>			
<p>園地施設 (灘黒岩水仙郷整備事業)</p>			
<p>①必要性</p> <p>本辺地に立地する灘黒岩水仙郷は、標高608mの諭鶴羽山の海に続く45度の急斜面約7haにわたって500万本の水仙が群生し、房総半島、越前海岸と並び日本三大群生地の一つに数えられ、観光資源に乏しい本辺地の地域活性化のための重要な拠点施設である。</p>			
<p>②緊急性</p> <p>近年の水仙生育環境の悪化等により、開花率が著しく低下しつつあり、入場者数が激減している。加えて、昭和52年に建設された非耐震構造の管理棟は、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことなどの理由から、再整備が急務となっている。</p>			
<p>③事業効果</p> <p>園地のユニバーサルデザイン対応、既存通路の拡幅及び駐車場の拡張等を行うとともに、</p>			

花立ちの悪くなった園地の環境改善及び、老朽化施設の建替え等による利用者の安全性、利便性の確保を行い、また、淡路一周サイクリングアワイチの休憩施設、地元特産物のPR拠点等としての機能などを新たに設けるなど、これまで水仙シーズンのみの利用であった灘黒岩水仙郷を、年間を通じて利用できる地域活性化拠点として再整備することで、地域の活性化が図られる。

上記2事業について、総合的に整備することにより、本地域の振興に大きく寄与することができる。

(記載要領)

まず、総論について記述し、その後各事業ごと(道路なら個別路線ごと)に、①必要性、②緊急性、③効果について詳述すること。

辺地にかかる公共的施設の総合的な整備計画の変更について（新旧対照表）

変更前	変更後
<p>総合整備計画</p>	<p>総合整備計画</p>
<p>兵庫県 南あわじ市 吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地 (辺地の人口 <u>167</u>人 面積 7.4k m²)</p>	<p>兵庫県 南あわじ市 吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地 (辺地の人口 <u>163</u>人 面積 7.4k m²)</p>
<p>1 辺地の概況</p> <p>(1) 辺地を構成する市又は字の名称 南あわじ市灘吉野、灘惣川、灘黒岩、灘白崎、灘来川</p> <p>(2) 地域の中心の位置 南あわじ市灘吉野 400 番地</p> <p>(3) 辺地度点数 128 点</p> <p>2 公共的施設の整備を必要とする事情</p> <p>吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地は市の南部に位置し、灘地域の中部で海岸沿いにある漁村集落である。</p> <p>【道路防災施設】（市単独道路橋梁維持事業）</p> <p>当該辺地地区は、集落へ通ずる唯一の市道である市道白崎本線を生活基幹道路として通行しているが、比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。</p> <p>特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急</p>	<p>1 辺地の概況</p> <p>(1) 辺地を構成する市又は字の名称 南あわじ市灘吉野、灘惣川、灘黒岩、灘白崎、灘来川</p> <p>(2) 地域の中心の位置 南あわじ市灘吉野 400 番地</p> <p>(3) 辺地度点数 128 点</p> <p>2 公共的施設の整備を必要とする事情</p> <p>吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地は市の南部に位置し、灘地域の中部で海岸沿いにある漁村集落である。</p> <p>【道路防災施設】（市単独道路橋梁維持事業）</p> <p>当該辺地地区は、集落へ通ずる唯一の市道である市道白崎本線を生活基幹道路として通行しているが、比較的多量の降雨時、また風水害時において山側より土砂が本道路に崩落し、通行止めなど車両通行に支障をきたしている。</p> <p>特に災害時は、緊急輸送物資の搬入や、応急的な復旧に際し緊急</p>

車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。

道路防災施設（落石防護柵）を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となる。

【園地施設】（灘黒岩水仙郷整備事業）

本辺地に立地する灘黒岩水仙郷は、標高 608m の諭鶴羽山の海に続く 45 度の急斜面約 7ha にわたって 500 万本の水仙が群生し、房総半島、越前海岸と並び日本三大群生地 の 1 つに数えられ、観光資源に乏しい本辺地の地域活性化のための重要な拠点施設である。

しかしながら、水仙生育環境の悪化等により、開花率が著しく低下しつつあり、近年入場者数が激減している。加えて、昭和 52 年に建設された非耐震構造の管理棟は、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことなどの理由から、再整備が急務となっている。

本事業により、花立ちの悪くなった園地の環境改善及び、老朽化施設の建替え等による利用者の安全性、利便性の確保を行い、また、淡路一周サイクリングアワイチの休憩施設、地元特産物の PR 拠点等としての機能などを新たに設け、観光拠点として再整備し、地域の活性化を図る。

車両等の通行確保が重要かつ不可欠であることから、早急に整備する必要がある。

道路防災施設（落石防護柵）を整備することにより、道路への崩土が抑止され、良好な通行が確保されるとともに、災害時における迅速かつ効率的な復旧作業も可能となる。

【園地施設】（灘黒岩水仙郷整備事業）

本辺地に立地する灘黒岩水仙郷は、標高 608m の諭鶴羽山の海に続く 45 度の急斜面約 7ha にわたって 500 万本の水仙が群生し、房総半島、越前海岸と並び日本三大群生地 の 1 つに数えられ、観光資源に乏しい本辺地の地域活性化のための重要な拠点施設である。

しかしながら、水仙生育環境の悪化等により、開花率が著しく低下しつつあり、近年入場者数が激減している。加えて、昭和 52 年に建設された非耐震構造の管理棟は、施設の老朽化が深刻な課題となっており、新築時の仕様が時代に合わなくなってきたことなどの理由から、再整備が急務となっている。

再整備にあたり地元関係者と協議を重ね、これまで水仙シーズンのみの利用であった灘黒岩水仙郷を、年間を通じて利用できる地域活性化拠点として整備することとしたため、園地のユニバーサルデザイン対応、既存通路の拡幅及び駐車場の拡張等を行うとともに、花立ちの悪くなった園地の環境改善及び、老朽化施設の建替え等による利用者の安全性、利便性の確保を行い、また、淡路一周サイクリン

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和7年度 8年間

(単位 千円)

施設名	事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源 のうち 辺地対策 事業債 の予定額
			特定 財源	一般 財源	
道路防災 施設	南あわ じ市	17,500	0	17,500	17,500
園地施設	南あわ じ市	<u>763,000</u>	<u>0</u>	<u>763,000</u>	<u>763,000</u>
合計		<u>780,500</u>	<u>0</u>	<u>780,500</u>	<u>780,500</u>

グアワイチの休憩施設、地元特産物のPR拠点等としての機能などを新たに設け、地域活性化拠点として再整備し、地域の活性化を図る。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から令和7年度 8年間

(単位 千円)

施設名	事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源 のうち 辺地対策 事業債 の予定額
			特定 財源	一般 財源	
道路防災 施設	南あわ じ市	17,500 <u>(17,500)</u>	0	17,500 <u>(17,500)</u>	17,500 <u>(17,500)</u>
園地施設	南あわ じ市	<u>1,161,100</u> <u>(763,000)</u>	<u>564,400</u> <u>(0)</u>	<u>596,700</u> <u>(763,000)</u>	<u>592,700</u> <u>(763,000)</u>
合計		<u>1,178,600</u> <u>(780,500)</u>	<u>564,400</u> <u>(0)</u>	<u>614,200</u> <u>(780,500)</u>	<u>610,200</u> <u>(780,500)</u>

上段：変更後 下段：(変更前)

議案第30号

下水放流施設建設工事請負変更契約の締結について

南あわじ市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成17年南あわじ市条例第46号）第2条の規定に基づき、先に議会の議決に付し、工事請負契約を締結した下水放流施設建設工事について、新たに除鉄・除マンガン装置及び装置に付随する配管・圧力タンク等の設備の追加を行いたいので、下記のとおり工事請負変更契約を締結するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

令和4年2月21日提出

南あわじ市長 守 本 憲 弘

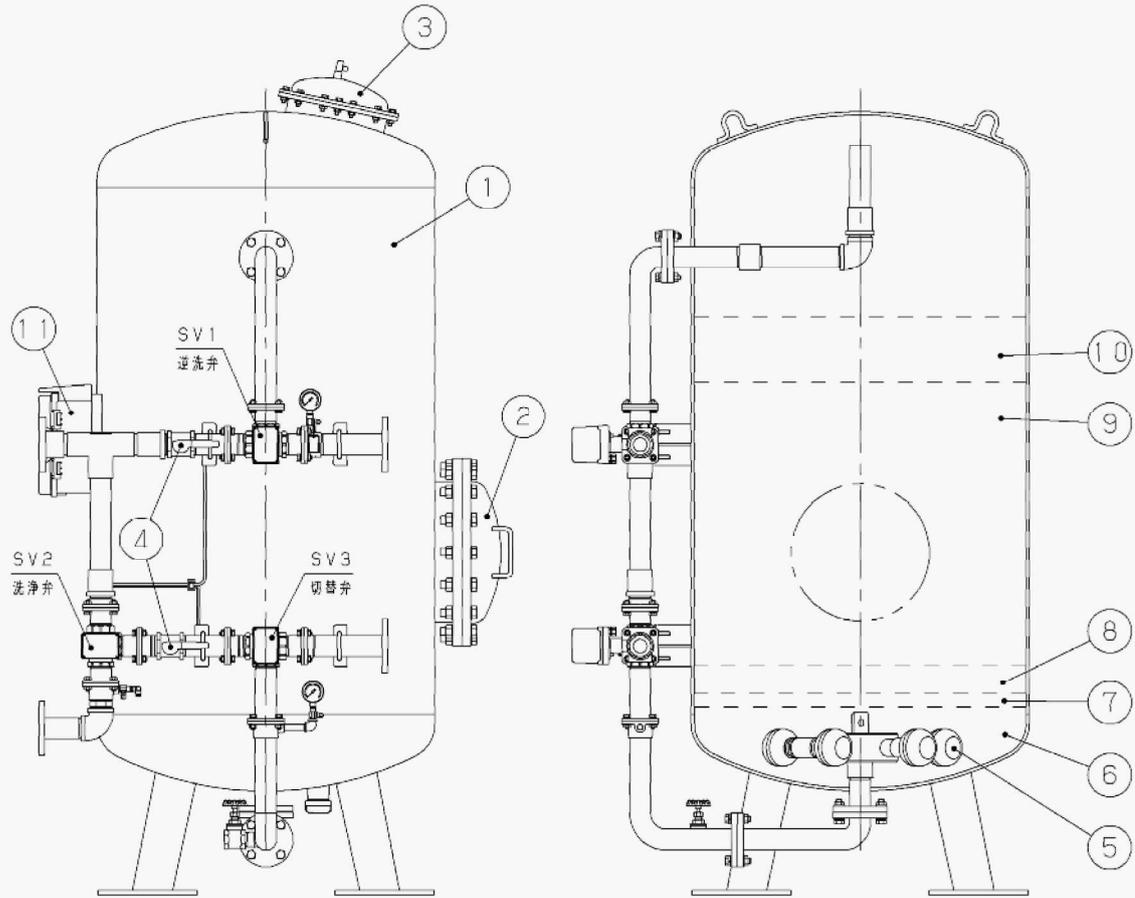
記

1 契約の目的	下水放流施設建設工事
2 変更契約金額	1,108,987,000円
（現契約金額	1,097,800,000円）
3 今回変更による増額	11,187,000円
4 契約の相手方	JFE環境テクノロジー株式会社 代表取締役 崎山 芳行

除鉄・除マンガン装置

アクアフィルター MAM3形 除鉄・除マンガン用 構造図

Model 形式	MAM3-130AS	
-------------	------------	--



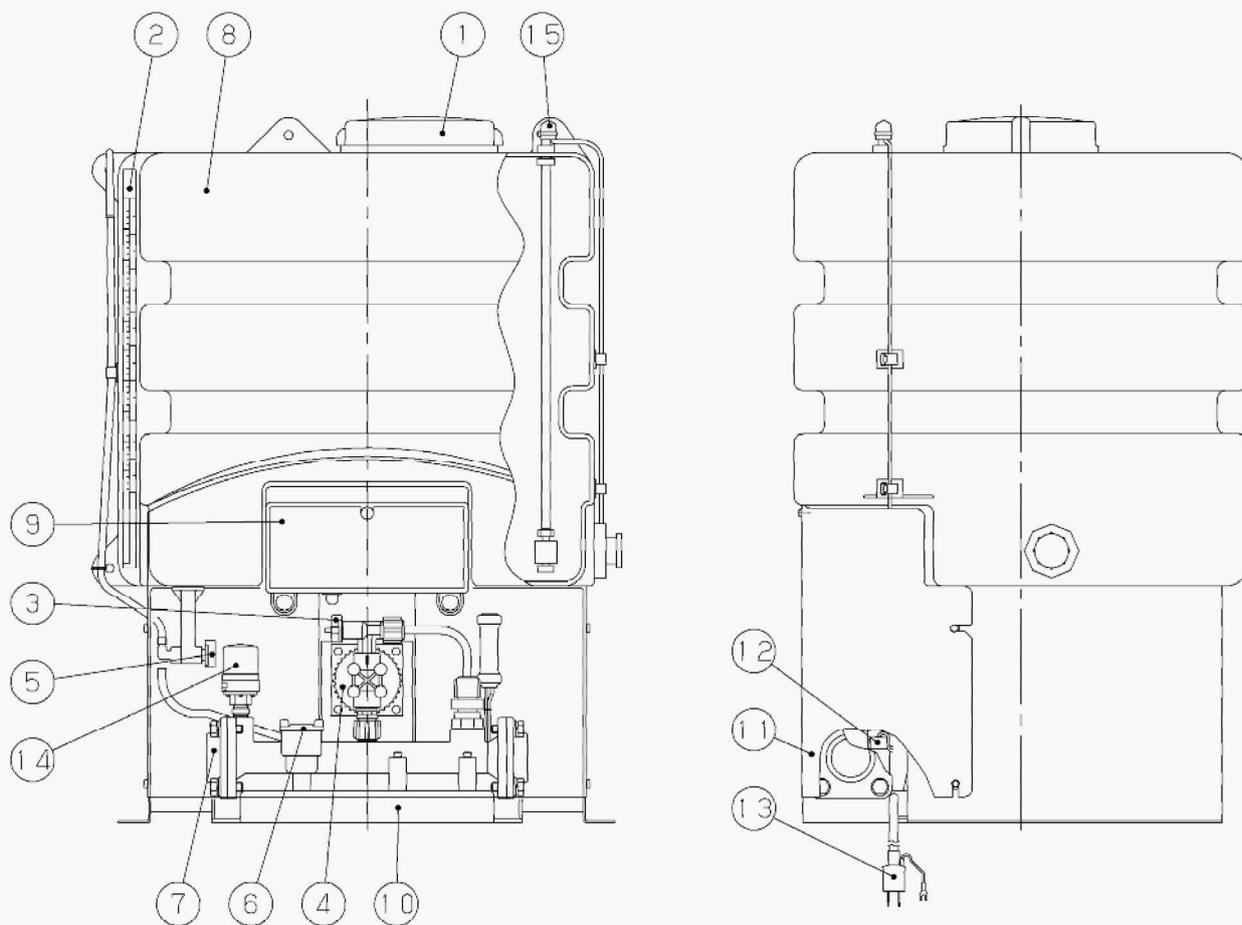
客先：南あわじ市 様
 工事名称：下水放流施設建設工事
 品名：除鉄・除マンガン装置
 機器番号：ZZ600-2

No	名称	材料	備考	No	名称	材料	備考
1	槽本体	SS400		7	ろ過材	砂	40L:支持砂利
2	カバー	SS400		8	ろ過材	砂	60L:支持砂利
3	カバー	SPHC		9	ろ過材	砂	540L
4	バタフライ弁	SCS13		10	ろ過材	砂	120L
5	フィルタ	PP		11	制御盤	-	
6	ろ過材	砂	100L:支持砂利				

次亜注入装置

アクアクリーン MJ-DR形 除菌器 構造図

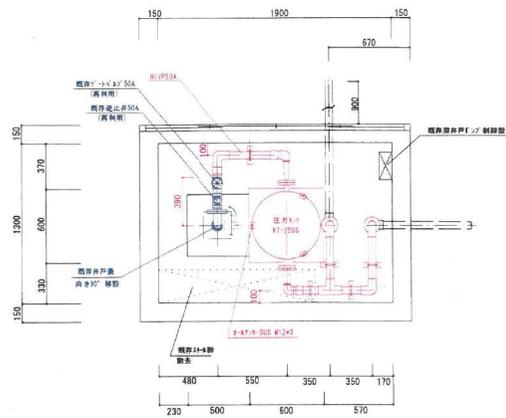
Model		
形式	MJ40SDR	



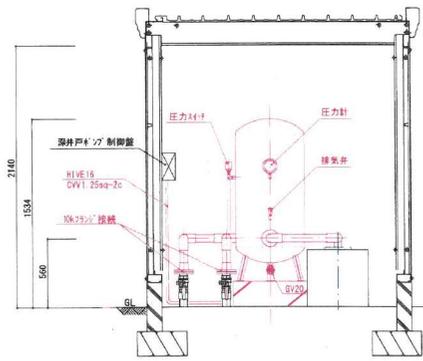
客先：南あわじ市 様
 工事名称：下水放流施設建設工事
 品名：次亜注入装置
 機器番号：ZZ600-1

No	名称	材料	備考	No	名称	材料	備考
1	キャップ	PE	薬液補給口	9	電装箱	-	
2	液面計	-	排気含む	10	ベース	SUS304	
3	排気弁	PVC		11	ポンプカバー	PVC	
4	注入ポンプ	-		12	ヒータ	-	
5	止め弁	PVC	薬液槽用	13	電源ケーブル	-	
6	流量センサー	-		14	圧力発信器	-	
7	角フランジ	SCS13		15	フロートスイッチ	-	薬液槽湯水防止
8	薬液槽	PE	100L				

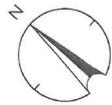
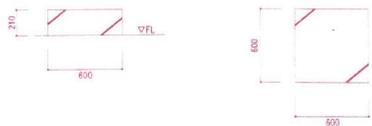
井戸小屋平面図 1/30



井戸小屋立面図 1/30



圧力タンク基礎図 1/30



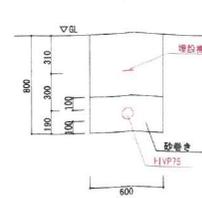
フェンスH=1500

敷地面積
1566.20㎡

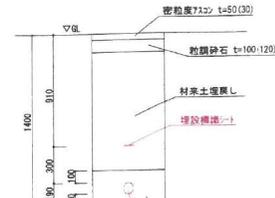
6400

圧力タンク

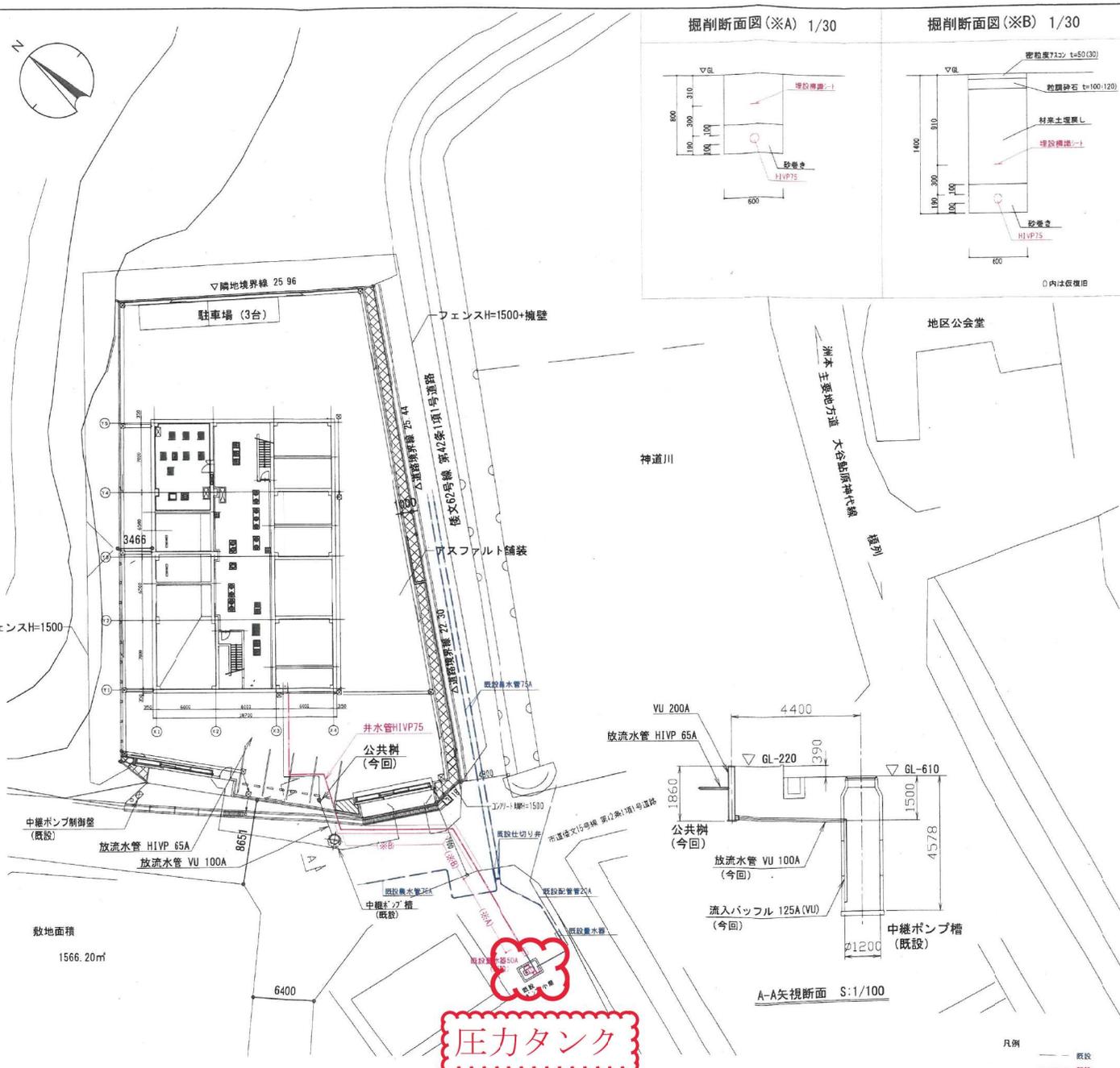
掘削断面図(※A) 1/30



掘削断面図(※B) 1/30



○内は仮復旧



神道川

地区公会堂

池本主要地方道 大谷郡池田中枝線

フェンスH=1500+擁壁

アスファルト舗装

井水管H1VP75

公共樹
(今回)

中継ポンプ制御盤
(既設)

放流水管 H1VP 65A
放流水管 VU 100A

中継ポンプ槽
(既設)

VU 200A

放流水管 H1VP 65A

公共樹
(今回)

放流水管 VU 100A
(今回)

流入パッフル 125A (VU)
(今回)

中継ポンプ槽
(既設)

A-A矢視断面 S:1/100

凡例
— 既設
— 新設

特記事項	訂定年月日	2021-11-24 2021-11-29	図面名称	井戸小屋配管図	年月日	21.10.30
			縮尺	A2 1:300	建設-01	

議案第31号

浮体式多目的公園老朽化対策工事請負契約の締結について

南あわじ市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成17年南あわじ市条例第46号）第2条の規定に基づき、制限付一般競争入札に付した浮体式多目的公園老朽化対策工事について、下記のとおり請負契約を締結するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

令和4年2月21日提出

南あわじ市長 守 本 憲 弘

記

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1 契約の目的 | 浮体式多目的公園老朽化対策工事 |
| 2 契約の方法 | 制限付一般競争入札による契約 |
| 3 契約金額 | 182,600,000円 |
| 4 契約の相手方 | 株式会社森長組
代表取締役 森 宏文 |

浮体式多目的公園老朽化対策工事概要書

1. 目 的

本施設は、水産業並びに観光業の振興施策の一環として、平成 13 年に既存の海釣り棧橋の先端部に浮体式多目的公園として設置されました。

しかしながら、設置から約 20 年が経過し、長期稼働による老朽化への対策、また南海トラフ巨大地震発生を見据えた、地震や津波に対する安全性の確保が急務となってきました。

本市では令和 2 年度に「メガフロートあり方検討会」を設置し、今後のあり方について総合的に検討と協議を重ねた結果、本施設を存続させるという結論に至りました。

以上のことから、今後の観光面、防災面での利活用を見据え、本施設の老朽化対策工事を実施します。

2. 工事概要

土木一式工事

維持補修工事	1.0 式
ジャケット補強工事	1.0 式
流出防止チェーン工事	1.0 式
転落防止柵工事	1.0 式
付帯工事	1.0 式

位置図

S=1:50,000

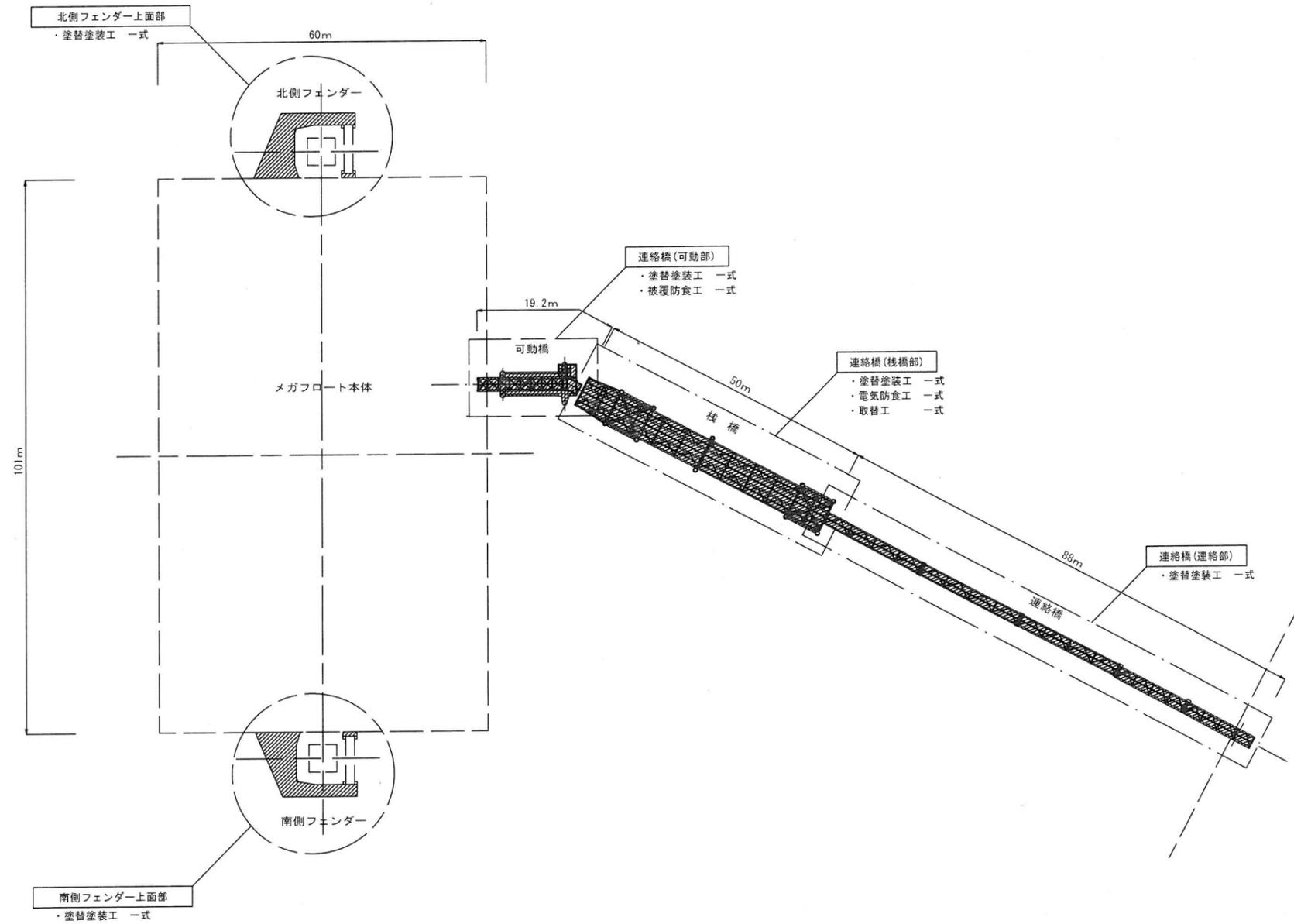
工事箇所



令和 3 年度 浮体式多目的公園老朽化対策工事		
南あわじ市阿万吹上町地内		
図名	位置図	
縮尺	1:50,000	
南あわじ市		

老朽化対策補修計画平面図

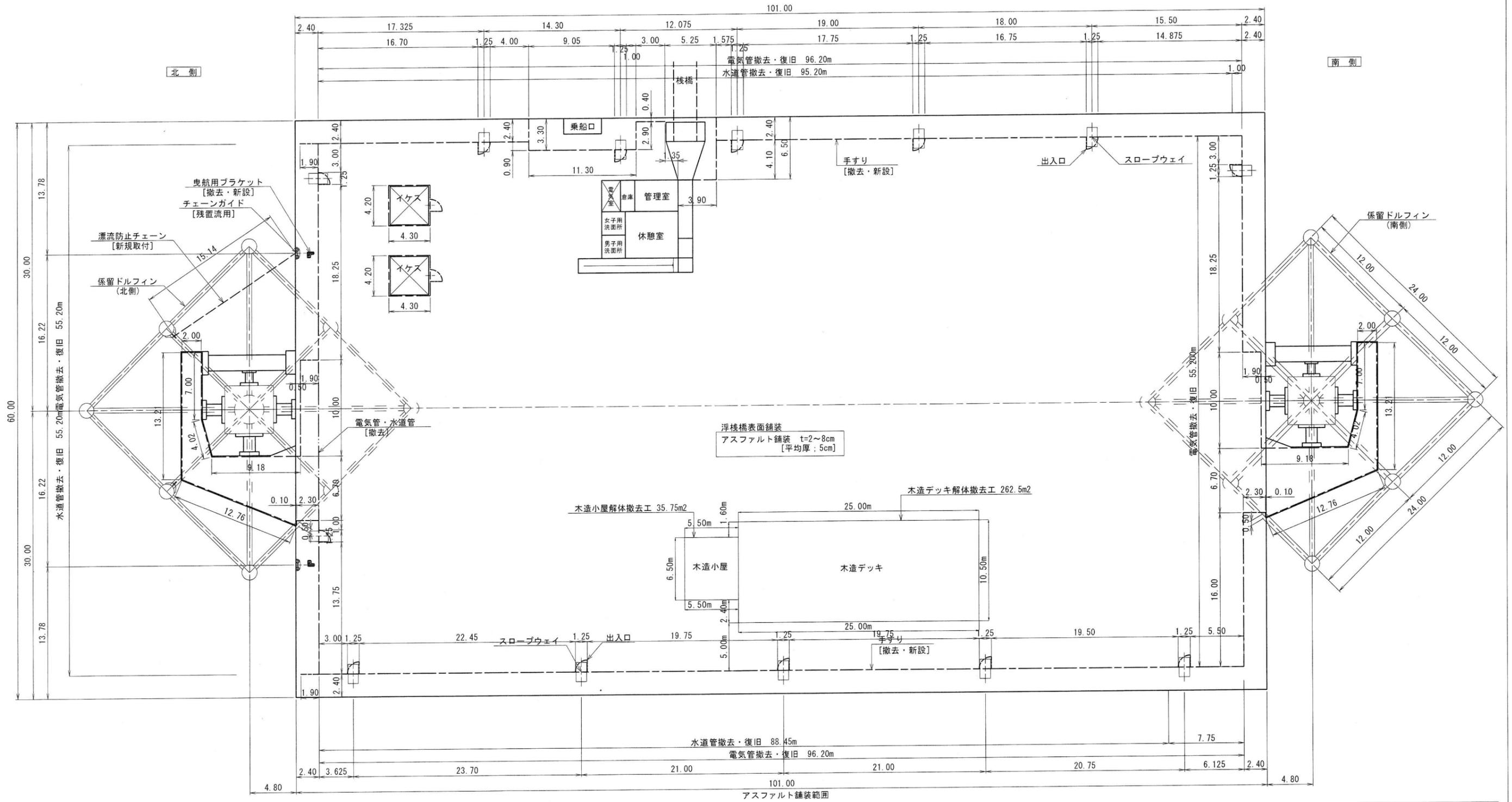
S=1:1000



令和 3 年度	
浮体式多目的公園老朽化対策工事	
南あわじ市阿万吹上町地内	
図名	老朽化対策補修計画 平面図
縮尺	1:1000
南あわじ市	

浮体式多目的公園施設 補修計画平面図

S=1:400



※付帯設備は当初設計資料及び想定により作図を行っているため、施工に際しては現地測量、調査を行う事。

令和3年度 浮体式多目的公園老朽化対策工事	
南あわじ市阿万吹上町地内	
図名	浮体式多目的公園施設 補修計画平面図
縮尺	1:400
南あわじ市	